

【みんなでつくろう和食】9月22日(月) 市・協会事業 (IIN・実用日本語学習会 協力)

IIN28 名、MISCA5 名、実用日本語学習会 19 名 合計 52 名

当日、午前 9:30、参加者の皆様が会場に集まって来られ、「茨木市ミネアポリス市姉妹都市提携 45 周年行事」の皮切りとして、本行事「みんなでつくろう和食」が行われました。



日本語学習会に所属する数名の外国人の皆様とミネアポリスからのゲストの皆様は、対面式の小さなお店での買い物を経験して頂きました。誰とも会話せずに買い物ができる時代において、お店の人達と話しながら、必要なものを買う体験は、思い出に残ったのではないのでしょうか。

買い物から帰って来られた皆様方は、エプロン・三角巾をつけて調理開始です。



和食の基本である「出汁」ですが、昆布水にかつお節を入れる、という作り方を見て頂きました。昆布水とかつお節を入れた後の出汁を両方とも味見して頂いたのですが、かつお節を入れた後にここまで味・風味が変わるのかと驚いておられたようです。玉子焼きについては、巻くことに苦労されていた方もいらっしゃいましたが、2 回目には皆様上手に巻かれ、嬉しい声や笑顔があちこちで見られました。

おにぎりは、海外においても認知度が高くなっている食べ物ですが、実際に自分で握るといのは、初めての方々も多かったのではないのでしょうか。思ったように形が整わなかった方、整った方、様々な感想もあると思いますが、一緒におにぎりを作り、自分で作ったものを食べる体験は、あまりないでしょう。

みそ汁は、だしパックを使って簡易に出汁をとる方法を経験してもらいました。豆腐を切る時、手のひらにのせるということに、びっくりなさった方々も多かったと思います。

日本人の普段の食卓の雰囲気を経験して頂く今回の試みは、参加された皆様にとってよい



思い出になったと思います。「観光」では得られない今回の経験を、ご自身の家族・友人達と共有して頂き、異なった視点から更に日本に興味を持って頂けたなら、主催側として大きな喜びです。

調理完了！ 交流の様子を見に来られた IFAI 事務局の方々と写真撮影



みんなで会食・交流 今日のイベントの1番の目的です



買い物・調理の裏スケジュールで準備する参加者の皆さん協力し合って段取りしてくださり本当に感謝します！

午後は会場を5階へ移動しIIN 野外活動分科会による英語プレゼンテーションです。
9月26日にミネアポリス訪問団の皆さんと行く丹波篠山バスツアーのバーチャルツアーへ。

運転手役のSさん、バスガイド役のKさんの案内でスケジュールの通りに商家群・篠山城・甲冑・昼食・酒蔵・丹波焼・民謡の紹介があり最後はデカンショ節をみんなで踊りました。

今夏、デカンショ節の自主練習に励んだ分科会のダンスリーダーさんたち。まずはデモンストレーションを見学。そして参加者全員で踊ります。関西万博の盆踊りのギネス記録にはおよびませんが、こちらも日本人・アメリカ人・日本語学習者さんたちと多国籍。その国際的な人と人のつながりは、大きな一つの輪から二重、三重に重なりあっていきました。「和」の英語はハーモニー。踊りの「輪」と和食の「和」、みんなで1つになった共同行事でした。



デカンショ節の練習の様子



手作りの甲冑を着てプレゼン



※実用日本語学習会のホームページにも報告がありますので、ぜひご覧ください。

<https://ibaraki-nihongo.sakura.ne.jp/event.html>